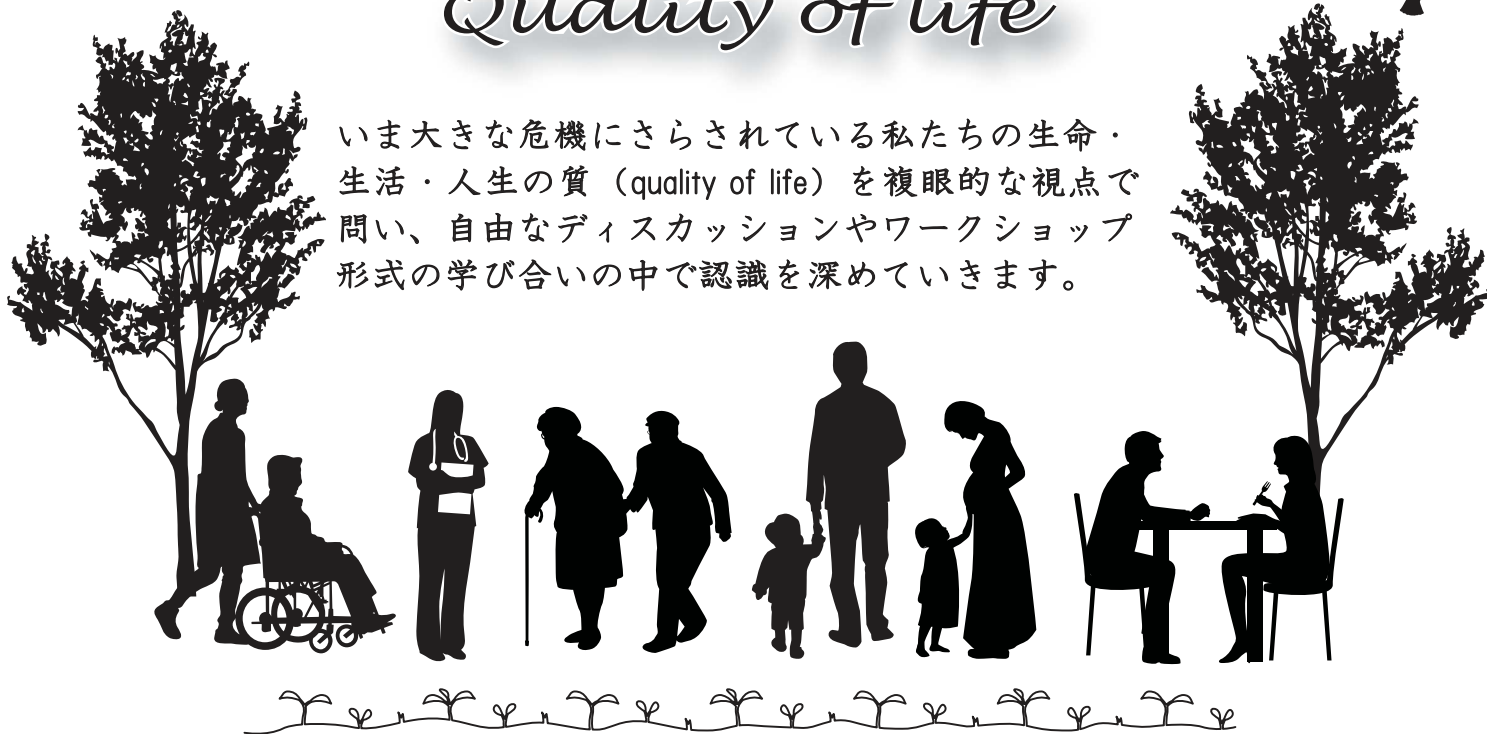


生命と生活の質特論

Quality of life

いま大きな危機にさらされている私たちの生命・生活・人生の質（quality of life）を複眼的な視点で問い、自由なディスカッションやワークショップ形式の学び合いの中で認識を深めていきます。



期 間：5月9日（土）～6月20日（土）

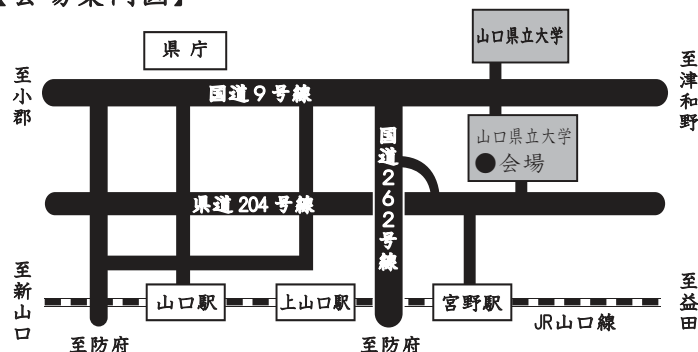
会 場：山口県立大学4号館D14教室

受講料：1回500円 10回以上5,000円

大学院の
授業です
部分受講可
全15回

- 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。

【会場案内図】



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAXまたはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜富3-2-1

山口県立大学附属地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

◆講座内容

回	日程	時間	テーマ	内容	講師
1	5/9 (土)	9:00~10:30	QOLとは？ 大学院で学ぶとはどういうことか？	Life:いのち、生命、生活、人生…。なぜ、いま地域貢献型の山口県立大学院でQuality of lifeを学ぶのか。特別ゲストとして江里理事長を迎え、医療の現場からの報告をおこなう。	理事長 江里 健輔 担当講師全員
2		10:40~12:10	日本社会の変化と 子どものこころの発達①	戦後からの日本社会の変化・家庭の変化によって子どもたちのこころの発達がどう変わってきたのかについて考える。	看護栄養学部 教授 中村 仁志
3	5/16 (土)	9:00~10:30	豊かさとは何か？ ～古典的貧困と現代的貧困～	人類が幸福を目指す歴史の大半は、窮乏・欠乏からの解放だった。「QOL」という概念が持ち出された背景の一つである、先進国における「現代的貧困」について紹介する。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
4		10:40~12:10	国民が世界で一番幸せだと 感じる国へ	我が国もいよいよ「格差社会」へと突入しつつある。人々のQOLの基盤としての、日本人のワークライフバランスについて、北欧と比較して考える。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
5		13:00~14:30	Cure to Care の思想と実践	福祉実践で実践アプローチがいわゆる「医学モデル」から「生活モデル」へと変化した過程と生活者視点でQOLを高めるケア実践を紹介する。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
6	5/23 (土)	9:00~10:30	食事におけるQOL① ～満足できる食事とは？～	生涯を心身ともに健康で楽しく生きるために、ここでは「栄養」とともに「おいしさ」をキーワードに「QOLを高める食事」について考える。	看護栄養学部 准教授 園田 純子
7		10:40~12:10	食事におけるQOL② ～加齢と食の変化～	人は加齢により味覚や嗅覚、摂食機能が変化する。食事をおいしく食べるために、調理する上での具体的な方法を紹介する。	看護栄養学部 准教授 園田 純子
8		13:00~14:30	日本社会の変化と 子どものこころの発達②	日本社会の変化によって子どもたちのこころの発達の見方・特徴がどう変わってきたのかについて考える。	看護栄養学部 教授 中村 仁志
9	5/30 (土)	9:00~10:30	コンゴ民主共和国の森の村で味わう 〈食べ物〉と本当の〈豊かさ〉	アフリカと聞いたらどんなことをイメージするだろうか。「人間は環境を破壊して生きるしかない」というのは大変な思い込みだと気づいた経験を語る。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
10		10:40~12:10	世界を旅して気付く 「みんな違ってみんな…」	世界各地で人々の現在の暮らし方をともに味わい、地域に根ざした伝承や芸能に耳を傾ける中で気付いた、日本人の生活に決定的にかけている「あるもの」とは。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
11	6/13 (土)	9:00~10:30	地球2個半が必要な 日本人の暮らしとその影響	環境問題のほとんどは人権問題であることを公害経験は教えている。私たちの便利な暮らしが希少資源を必要とし、産出国での内戦・飢餓・レイプ・虐待などに結びついている。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
12		10:40~12:10	すべてに命がやどり魂がある という南の島の宇宙観	人間が一番偉いという思い込みを離れ、あらゆる自然の恵みに感謝しながら日々の祈りと歌に埋め尽くされた南の島の暮らし。そこから今私たちが学ぶものとは。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
13	6/20 (土)	9:00~10:30	グループディスカッション (分科会)	4グループにわかれて、 グループディスカッション	担当講師全員
14		10:40~12:10	分科会の報告と質疑応答	それぞれのグループでの討論の内容を10分程度にまとめて、全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。	担当講師全員
15		13:00~14:30	まとめ	全員参加によるまとめと今後の展望	担当講師全員

◆受講申込書

前期公開授業「生命と生活の質特論」を受講します。

お名前（ふりがな）	
ご住所	〒
電話・FAX	

電話またはFAX、ハガキでお申込みください。